

駅前東館跡地の活用方針について



りきたちゅうひち
力田 忠七 議員

新庁舎建設問題は、本市百年の大計を築く大事業であり、議会は徹頭徹尾審議して最大公約数を求め、市民の付託にこたえる必要がある。

問 ①駅前には新庁舎を建設することに、どのような検討をしたのか、メリットとデメリットに分けて説明を求めます。

6億5千万円を投じた土地に、永久的に1円の税金も入らない公共の建物を建てていいのか、市民は納得するか。見解を求めます。

②平成27年度以降の財政計画の普通建設事業費が1.2に縮減されているにも拘らず、経常収支比率が上昇し財政の硬直化が進んでいる。もし建設事業費が60〜70億円をキープした場合、財源はどこに求めるのか。27年度以降交付税が縮減される分を普通建設費

にスライドするのはどうか、再度財政計画のやり直しを求める。

③宮浦の元浄水場跡地は新庁舎建設に最もふさわしい場所だと考える。

バスやタクシー等のアクセスを伴ったなら、スムーズに行くことができる。と考えるが、見解は。

答 ①帝人用地を建設候補地として検討してきたが、ペアシティ三原東館跡地を取得したことで、この土地についても候補地として検討した。南小学校と第三中学校のグラウンド共用問題の解消は、帝人用地の取得が可能なのこの時を逃がせば、問題の解決を図れないと判断した。一方で駅前跡地は、施設配置にはある程度の制約は受けるが、現庁舎以上の規模が確保できる、西館との一体的な活用が可能、公共交通機関の接続、民間施設の立地の可

能性が期待できると判断した。

公共施設を駅前を持つていくと、税収は減少するかもしれないが、周辺の活性化につながると考える。

②平成27年度からは、「合併算定替から一本算定へ移行」するため、普通交付税が減少することになる。27年度以降の普通建設事業費は、一般事業費を3割程度縮小したもので、60〜70億円をキープする予算化は難しい。

その場合の財源は基金の取り崩しや地方債に求めることになる。

③宮浦浄水場跡地への新庁舎建設は、地方自治法上、事務所の位置を変更するには、住民の利用に便利な交通事情等を考慮する必要はある。また、用地の購入で新たな財政負担を伴うなどで適当ではないと考える。



旧浄水場跡地（宮浦）

「金のルール」の現況と教育力の充実について



にしもと よしはる
西元 義治 議員

問 平成21年から11月1日を「三原教育の日」と定め、子どもたちの元気の素「金のルール」の推進をしているが、現況はどの様になっているか、また人間力を培う更なる教育力の充実について。

答 本年4月に実施した調査によると、早寝、早起きについて小学生、中学生ともに県の平均を上回っている。朝ごはん、靴そろえについても高い評価をいただいている。

各学校において、知・徳・体をバランスよく育て、たくましく生きる力を育成すべく勤労観、職業観を育てるために、キャリアスタートウィークとして市内全中学校の2年生を対象に、連続5日間の職場体験学習を実施している。具体的な体験は児童・生徒の成長に大きな意義があるので支援していきたい。

問 三原市長期総合計画後期基本計画策定のため、4年前に比べて行政サービス（質や量）がほとんど変わらないが58.1%であった。今後の行政サービスの満足度アップ策について。

答 合併後、市民対応の心構えをまとめた「さわやかマナーブック」を作成し、市民の皆様へサービスを提供する全体の奉仕者として、良識ある行動、信頼される社会的マナーを認識し実践してきた。また、接遇研修や、行政サービス向上研修を全職員を対象に実施している。市民対応の窓口においては、態度、説明の仕方、待ち時間の短縮、雰囲気改善を行いたい。旗振り役の市長を先頭に、今後も管理職の挨拶運動、さわやか運動に取り組む意識改革を進め、満足度向上のための市民の視点を忘れずに取り組んでいく。

金のルール

子どもたちの元気の素「金のルール」でたくましく生きる力を育てましょう

はやね 早寝
はやお 早起き
あさごはん 朝ごはん
よみかき 読書
あひさつ 靴そろえ

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
早寝	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%
早起き	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%
朝ごはん	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%
読書	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%
靴そろえ	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%

金のルール

学校におけるいじめの根絶について



まさひろ ともはる
政平 智春 議員

問 ①いじめの実態把握はどのようにしているのか。

②いじめを発見するた
めどのような方法をとつ
ているか。

③いじめが発覚した場
合どのように対処してい
るか。

④いじめの側への取り
組みはどのようにしてい
るのか。

⑤いじめを未然に防止
する取り組みはどのよう
にしているか。

答 ①いじめを発見した
ら、その都度、概要と取
り組みについて、学校か
ら教育委員会へ文書で報
告。

②児童・生徒の日記や
生活ノートの記述内容を
丁寧に読む。個人面談や
心の教室相談員やスクー
ルカウンセラーによる相
談窓口で日常的に対応。
また教育委員会の電話に
より、保護者からの相談

も受けている。

③被害者と加害者に事
実確認を行い、被害者の
心情に沿って謝罪の場を
設置。また相談活動やカ
ウンセリングにより心の
ケアと、いじめは絶対許
されないと認識の下、
お互いを大切にする集団
作りに努めている。



④いじめに至った原因
を聞き取り、被害者が受
けた心の傷や、自分の内
面を見詰めさせる指導を

行い、周囲の人間関係の
問題点を明らかにしなが
ら、立ち直りに向け支援
をしている。

⑤体験活動や道徳教育
の推進。いじめのサイ
ンを見逃さないよう情報
集を行っている。また教
職員の人権感覚を日常的
には研ぎ澄まし、問題解
決の研修も進めていき
たい。

教職員の長時間超過 勤務問題について

問 今年6月の教職員超
過勤務時間が、平均62時
間25分というのは、22日
勤務であるから、とても
多い時間だと思うが、教
育長の見解を。健康管理
はどうしているか。

答 今の入退校の記録に
基づいて、それが多いか
少ないかということでは
1日3時間であるとする
ば、それは明らかに多
い。

健康管理については、
本年度も申告がなくて、
診断を受けた者はいない。

新年度予算編成における活性化対策は



しちかわ よしあき
七川 義明 議員

問 本市の経常的収支比
率が連続して90%の数値
を示し、財政構造の弾力
化が低下しており、今後
も一層深刻になると考え
る。

市民生活においても実
質的収入は低下し、生活
への不安、圧迫感はさら
に強くなっている。

市民生活を直視し現状
分析をどのようにしてい
るのか。

生き生きとした、元氣
な市政にするためにどの
ような取り組みをしてい
くのか。

答 本市の、景気動向を
あらかずDIは、9月期
は6月期より12ポイント
近く好転をしたが、この
12月期は5・6ポイント
の悪化が予想されている。

国の緊急経済対策事業
や本市独自の対策として、
雇用創出・企業誘致の奨
励措置、中心市街地商業
振興におけるチャレンジ

ショップ事業、空き店舗
活用事業、融資事業等を
取り組んできた。限りあ
る財源を有効に活用し、
活力ある三原の実現に向
け努力していく。

DIとは？

企業の業況感や設備、
雇用人員の過不足な
どの判断を指数化し
たもの。

新庁舎、学校整備等に おける課題について

問 新庁舎は駅前ペア
シテイ東館跡地に、さらに
帝人用地を購入し小学校
保育所、武道館を整備し
たいとの意向が示された。

駅前敷地面積は597
0㎡であり、現庁舎敷地
面積は5676㎡とあま
り変わらず、現庁舎敷地の
活用が可能では。駅前に
移す必要があるのか。駅

前用地は商業地域として
活用方法を含め、少し時
間をかけて検討した方が
良いと思うがどうか。

答 現地への庁舎建て替
えについては、庁内で検
討した結果、困難である
との結論を得ている。

今後議会での議論・検
討をふまえ、市民との意
見交換や市内の各団体等
の代表者や市民で構成さ
れる外部委員会など、あ
らゆる機会を通じ説明、
理解を得たい。



三原市庁舎

リージョン体育館に空調設備の導入を検討すべき



ぶんの たつみ
分野 達見 議員

問 本市のスポーツ振興の拠点であるリージョンプラザ体育館は、副体育館併せて年間の利用が約10万人に及び、生涯スポーツの推進にも十分な役割を果たしている。

しかし、この体育館は大変暑い。特に夏季の大会運営には、熱中症対策に神経を使うとの、各種スポーツ大会関係者の切実な声があり、県内近隣のスポーツ愛好者の共有認識となっている。

体育館に空調設備の導入をすべきだと考えるが見解を問う。

答 リージョン体育館は空調設備は備えていない。夏季は、ロビーの冷房や大型扇風機、吸排気ファンなどで工夫をしているが、これらの対策は根本的対策ではないので、空調設備整備の可否について検討してきた。

この施設は、当初から

空調を想定しておらず断熱構造でもないため、現在の機器の増設や単独の空調機設置は、多大な経費を伴い費用対効果の面からも現段階では難しいと判断している。

今後再度調査検討をしていく。

スポーツ利用時の水分補給に利便性を

問 リージョン体育館で、土日に開催される各種のスポーツ大会では、水分補給についてはコート横のマットの上で認められているが、平日の利用ではこのような対応が見受けられない。

平日の利用であっても年間を通じて、水分補給についてはコート横のマット上で認めるべきである。

答 以前、スポーツ飲料水がこぼれ、ワックスが



リージョンプラザ体育館

果が薄れて足がつかかるなどプレーに不都合があったので、通常利用は館外での水分補給をお願いしている。

多数の参加者の大会では運営上の問題もあり、マット使用を条件に許可をしている。

スポーツ時の水分補給平日での許可については、直接プレーに関係しない場所を特定しての許可など、指定管理者を交え利用者の安全面も踏まえ再度検討したい。

新庁舎建設に市民の声をどう反映させるのか



たにくち かずこ
谷口 佳寿子 議員

問 長年の懸案である三中・南小のグラウンド共用問題の解消など、教育施設の整備と一体的に課題解決を図る方策として一定の理解もできるが、

庁舎建設が駅前の活性化に繋がるかどうか、また財政面の懸念も大きい。今後いかに市民の理解を得ていくか、スケジュールも含め考え方を聞く。

大規模工事となれば、大手ゼネコンに一括丸投げをするのではなく、地元業者が参加しやすい発注を、と願うがどうか。

答 市議会の賛同を得た上で、意見募集や意見交換会、説明会等を開催したい。検討経過なども情報開示し、合意形成を図りながら、市民の声を反映していく。

事業手法については、各方式を慎重に比較検討し決定していくが、市内への経済還流が生じるよ

うに、地産地消の視点が不可欠と考えている。

窓口での外国語対応の充実を

問 市内在住の外国人登録者の実態は、庁舎窓口においての対応に、コミユニケーションガイドブックを作ったかどうか。また市民によるボランティアの外国語サポーター制度を設け、活用しているか。

留学等のため英語の証明書が必要な場合の対応はどうか。

市民満足度の高い窓口対応を。

答 現在の外国人登録者数は1453人、国別では中国

586人、フィリピン215人、ブラジル191人、朝鮮及び韓国が135人など。この5年間で約1.5倍に増加している。

ガイドブック、外国語ボランティアについては、先進地等の事例を研究し、前向きに検討したい。

英文書類については、各学校での対応は可能。所得や納税の証明書については、実施している市の事例等を研究・検討していく。



三原市の外国語案内パンフレット
(英語・中国語・ポルトガル語・ハングル語)